

ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 平原 祥彰



朝夕はめっきり涼しくなり紅葉の便りもきかれるこのごろとなりました。

ガバナー公式訪問は 10 月中に 50 のクラブを終えて、いよいよ最終の段階になりました。

各クラブの皆さんに、温かく迎えられ、日々感謝しながら元気に訪問を続けております。

クラブのリーダーは工夫をこらし、はっきりとした目標をかかげてメンバーに協力、参加を呼びかけております。

やがて立派な成果が得られるものと大いに期待いたしております。

各 IM は 8 組を初めとして 5 組、3 組と終了いたしました。ホストクラブの皆さんと実行委員長、それにゼネラルリーダーを務めていただいたパストガバナーの工夫と努力に対し大いに感謝したいと思います。

各 IM 共参加いただいたメンバーの熱心な取り組みに対し、敬意を表したいと思います。

11 月はロータリー財団月間であります。

世界で“いいこと”“役立つこと”をやろうと 1928 年創設されました。

財団の活動と、その成果はすでに皆様によく御存知のところであります。

この財団活動の財源はすべてロータリアン各位の寄付金によってまかなわれております。

クラブの財団担当はメンバーに対して財団のプログラムと歴史、そしてその成果をよく理解していただくよう特別に企画を樹てほしいと思います。

私は寄付が先ではなくプログラムが先であると考えております。つまり財団の資金をクラブの奉仕活動に活用してほしいのです。そのことが先決と考えております。IM を単位としてガバナー補佐に中心となっていて、クラブの個々具体的な問題、テーマについて地区チームがキメ細かく支援をする、このやり方を活動の柱として根付かせて行きたいと考えております。そして財団について深く御理解をいただいて、その上で一層の御協力をお願いすることにしたと思うのです。

早いものでもう 1/3 がすぎ去りました。心してロータリアン各位と共に日々のロータリー活動に精進したいと思っております。

ロータリアンの皆様、私と一緒に前進しましょう。

元気を出して挑戦しましょう。